

生徒質問紙

【良好な回答がみられた質問】

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合が県平均を上回っている質問
＜生活に関すること＞

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか(+1.9%)
- 将来の夢や目標を持っていますか(+1.8%)
- 人が困っているときは、進んで助けていますか(+2.1%)
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか(+5.2%)
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか(+7.2%)

＜学習に関すること＞

- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか(+2.3%)
- これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察することがありましたか(+1.7%)
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか(+2.3%)
- あなたは、自分がP C・タブレットなどのI C T機器を使って情報を整理する(図、表、思考ツールを使ってまとめる)ことができると思いますか(+8.7%)
- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか(+2.2%)
- 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか(+3.8%)
- 学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか(+3.1%)

【課題がみられた質問】

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合が県平均を顕著に下回っている質問
＜生活に関すること＞

- △朝食を毎日食べていますか(-3.1%)
- △毎日、同じくらいの時刻に起きていますか(-2.5%)
- △自分には、よいところがあると思いますか(-6.4%)
- △学校に行くのは楽しいと思いますか(-5.3%)

＜学習に関すること＞

- △自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか(-5.9%)
- △総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか(-6.3%)

【本校の現状と改善に向けた取組について】

本校の意識調査では、生活面・学習面ともに県平均を上回る良好な結果が見られました。特に「人を助ける」「社会をよくしたい」といった項目では肯定的な回答が多く、生徒の思いやりや意欲が感じられます。また、「ICT 機器を使って情報を整理する力」などの項目でも高い結果が見られ、タブレットの活用が学習に定着していることが分かります。

一方、生活リズムの乱れや自己肯定感の低さ、学校生活への満足度の低さが課題として挙げられました。加えて、発表活動への取り組みにも改善の余地があります。これらの結果をふまえ、今後は生活習慣の改善、自己肯定感の向上、発表の機会を増やすなどの取り組みを進めていきます。

【自己肯定感の向上】

自信と意欲を育む声かけや、生徒のよさを認め合える活動を推進する。

【探究活動の充実】

発表の機会を増やし、課題解決型学習や主体的・対話的で深い学びを支援する。

【生活習慣の確立】

朝食の重要性や規則正しい生活リズムの定着を、学校や学級での指導を通して促す。